

議会報告会実施報告書

開催日時	平成 28 年 5 月 22 日（日）午後 2 時から午後 3 時半
開催会場	春里公民館
出席議員	林則夫、亀谷光、富田牧子・中村悟、山根一男、川合敏己、川上文浩、酒井正司、伊藤壽、天羽良明・勝野正規、渡辺仁美
班長	富田 牧子
報告書作成者	天羽 良明
参加者数	20 名
実施内容	議会のトビラによる平成 28 年度予算の内容 議会アンケート結果報告 他
質疑および 意見等	<p>【1 グループ】</p> <p>① 電話で予約バスの住民理解がまだまだなので、周知に努めるとともに、利便性の向上を期待する。</p> <p>② 高齢化が進み地域の活性化に希望が持てなくならないよう「高齢者の安気づくり」を推奨する行政として、高齢者が安心して暮らせるまちづくりに本気で取り組んで頂きたい。</p> <p>③ 帷子地域の団地問題（高齢化）を解決するため、帷子自治連も問題解決に対処するので、議員は同調し、行政は全面的な支援をお願いする。</p> <p>④ 消防団員確保は年々困難になっているため、市単独で今以上に個人・企業への優遇施策をとって欲しい。</p> <p>⑤ 地域により防災に対する温度差があるため、消防団としても勉強していくため、議会・行政も地域防災の底上げに一層の理解を賜りたい。</p> <p>⑥ ボランティアへの感謝の気持ちはわかるが、ボランティア意欲の低下につながらないように、K マネーのポイント上限を撤廃されたい。</p> <p>【2 グループ】</p> <p>① 駅前子育て等空間創出事業について 何年も検討されてきた案件だが、今回決定した施設は時代遅れのものではないか。維持費もかかるし高齢社会に向けた老人の為の事業</p>

にお金を使った方がよいのではないか

② . 防災対策について

豪雨の場合など非難するのは雨が降りかけてからでは遅い。川のかさ上げなど対策に大きな金がかかるから実質は出来ないので自分で非難する事を考えなければならない。市民一人一人が自分で非難する為の避難計画の策定と周知をすすめるべきである。降雨量等市民への事前情報の発信方法を検討すること。

防災放送は全く聞こえない、もっと聴きやすいようにしてほしい。

F M からも防災情報が流れるらしいが大半の市民は知らない。

個々の家に室内で情報が確認できるようにしたらどうか

③ . 公債費率が低い事は、大変良い事だがやるべき事をやらずに市民サービスの低下になっていないか

その他

- ・ 乳幼児待機児童は、いるか？
- ・ 水道料金が低い
- ・ 名鉄広見線の存続は？
- ・ 名城大撤退後の跡地利用は？

【3 グループ】

意見交換

(駅前子育て拠点施設)

- ① 駅前拠点施設等、合併特例債を用いての箱物建設が増えているが、財政的に方針転換をしたのか。

(公共交通)

- ② 名鉄広見線(新可児～御嵩)については、乗客数の増加が見込めないままに継続されている。どこかで、目標数値を定め、その数値を割り込んだら廃止もやむを得ないのではないか。

(リニア新幹線)

- ③ その後の状況について、まったく説明がなくどうなっているのか不安である。

(名城大学跡地)

- ④ 名城大学都市情報学部の移転が来年と迫っているが、その後の利用方法等についてまったく説明がない。

(有害鳥獣対策)

- ⑤ 平成 28 年度予算への提言に対する市の対応が記されているが、被害状況や具体的な対策が書かれていない。

(災害対策)

- ⑥ 熊本で大きな地震があったが、それに関連して市議会では対応策などについての議論はあったのか。建物の耐震課のことや支援体制などについて検討してほしい。

(市長への提案・職員提案)

- ⑦ 市長への提案では、質問や回答がHP上に記されない。どんな提案があり、それにどう答えたか(市側の回答)などを公開すべきである。
- ⑧ 職員提案制度があるが、可児市は他に比べてもあまりにも提案件数が少なすぎる。また、提案の内容や評価についても、公開すべきである。

(議員一般質問)

- ⑨ 各議員の一般質問については、攻め方が弱い。単にどうなっているのか?ではなくて、提案型の質問を期待する。また、どのような提案が成されているのか、市民からも見えるようにしてほしい。

【4グループ】

- ① 水道料金の値下げは可能かどうかの質疑

- ② 災害発生時等非常時への別枠の予算はあるのかとの質疑
意見・提言

- ③ 学校教育に関して

教師の職務において、報告書作成等事務処理に要する時間が多すぎはしないか?

それによる現場対応への弊害が起こりうるのではないかと懸念する。

- ④ 元ママさん世代はこう考える

議会報告会などの集いに市民が集まりやすいしくみや雰囲気議員自らがつくりだすべきだ。

特に、元ママさん世代(子育ての有無にかかわらず、経験豊かで、社会問題にも関心を持ち、またそのためのゆとりを合わせ持つ50歳代60歳代を中心とした女性)

が気軽に会に参加できればなおさら良いのではないか。

そうして市民の声を吸い上げ、市政施策に反映させてほしい。

- ⑤ 若者の雇用とまちづくり関連

若者の雇用がなんとかならないものか。

一定収入が市内で得られなければ市を離れる以外方法はない。

また、収入の安定とともに

ワクワク感の創出が可児市を魅力あるものとし、若者にとって住みたい町となるのではないか。

祭りなども危険回避を優先するあまり、萎縮した内容になってはいないか。

以上

上記の内 委員会等 で検討す べきもの	3班より 3班の⑤ 有害鳥獣被害の実態（被害総額）と具体的な対策。 1班の④と⑤ 2班の② 3班の⑧ 4班の③と④
------------------------------	------------------------------------------------------------------------------

平成 28 年 5 月 26 日

可児市議会議長 様

可児市議会報告会開催要領の規定により提出します。

議会報告会 春里公民館会場 班長

畠田牧子